

地域とともにある学校

鶴居中学校区（鶴居小学校・下幌呂小学校・鶴居中学校）



# コミュニティ・スクールだより

双方向、熟議、連携・協働 平成30年11月8日（木）No. 4

## 各CS部会の活動報告①

9月～10月にかけて各CS（コミュニティ・スクール）部会を行いましたので、報告します。今号は、鶴中部会の報告です。

### 〈鶴中CS部会〉

- ①地域の防災に向けた取組の推進
- ②学校視察と学校評価の検証



#### ①HUG（避難所運営ゲーム）を行いました

10月19日（金）に鶴居中学校2年生、教員、保護者、自治会の役員の4者でHUGを行いました。釧路総合振興局から講師を招いて、鶴居中学校が避難所になった場合を想定し、シミュレーションを行いました。

◆鶴居中学校の体育館をベースに、カード形式で ①避難者をどこに配置するか②設備（ストーブや暖房など）をどこに置くか③救援物資（パンやおにぎり等）をどのように配るかなど、避難所として開設した場合に短時間でどのように判断し、行動するかをゲーム形式で学びました。体育館以外にも、各教室や屋外の施設をどのように使うかを考えました。生徒は、犬（ペット）を連れてきた時にテニスコートに放しておけばよいとの意見も出ました。



参加者の声より

#### 【感想】

- ・子ども達の成長を実感した。生徒は自分の意見をまとめ、発表する力があると感じた。生徒は必死に考えていた。
- ・子どもとこのように交流することはよいことだ。このような機会は大切
- ・避難所運営は行政があらかじめ段取りしておくことが必要
- ・避難所スペースについてもあらかじめ決めておくべき

#### 【次年度への課題】

- ・実施会場（教室）が狭かった。実際に体育館でやるとイメージがわく。
- ・時間がもう少しあるとよい。1回で終わるとなんだろうという感じがする。何回かやって慣れることが大切。

#### 【その他】

- ・避難所運営は行政があらかじめ段取りしておくことが大切。避難所になってから考えるのではなく、避難所スペースや通路などはあらかじめ学校と相談して決めておくべきだ。
- ・学校に発電機はあるのか。災害の場合、借用できるのか、備えておくのかについても決めておいた方がよい。

この取組だけに関わらず様々なご意見をいただきました。特に、行政との連携、設備に関わる問題については、その場ではなく、あらかじめ決めておく必要があること。また、取組方法へのご示唆もいただきました。

#### ②学校視察と学校評価の検証

10月3日（水）に鶴中CS部会を開き、1学期学校評価アンケートの結果の報告、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果、いじめ調査の結果等について報告し、検証を行いました。概要は次の通りです。

- ・自治会の花壇造成の手伝いを中学生が行ったが、地域の方が植え方を教えたりしながら交流を図ることができた。家庭で花を植えたり、お手伝いしたりする機会が減っているのではないかと感じる。
- ・鶴居中学校の学力が高いことの要因についての意見交流
- ・いじめ・不登校についての意見交流

★次回鶴中部会（2月開催予定）は、2学期学校評価検証、いじめ防止基本方針の見直し、今年度の活動の振り返りと次年度への展望を予定しています。